

伏見歴史 10・25

2007年10月25日

0:36

Copyright : Takumin

復習

- 奴隷貿易
 - 二角貿易
 - 控えめな儲け
- アフリカへの影響
 - 商品ごとに異なる

アフリカへの影響は？

1. 経済的影響

- 通説
 - ヨーロッパ→アフリカ 大量輸出
 - アフリカの地場産業の破壊
 - アフリカの経済的従属

2. 人口的影響

- 通説
 - 大量に壮年男子の人口流出
 - →労働力減＞産業へのダメージ
 - →男女不均衡：出生率の低下

人口的影響①

- 大西洋向けの輸出総数 900～1200万人
- 年平均
 - 17世紀前半まで 年間1万人未満→サハラ砂漠経由の輸出の法が大きい
 - 17世紀後半 年間1～2万人→サハラ砂漠の輸出を上回るが、金や香料輸出よりも小さい
 - 18世紀前半～ 4～8万人→奴隷が最大の輸出商品に

人口的影響②

- 17世紀までは、輸出のインパクトは小さい。
- 18世紀：アフリカの人口は？
 - 奴隷貿易の影響する地域には2500万人
 - 人口成長率：年0.5%前後 年間12万人前後の人口増加→約半数が毎年流出
 - それに加え、青年人口流出、暴力、域内の奴隷増加→影響は大きい
- 影響の地方差：
 - 黄金海岸地方：顕著な人口減少は見られない
 - ロアング地方：ゆっくりとした人口減少

- ベニン地方：人口が半数に

※ 象の増加

アメリカでの奴隷輸入先

- ①. スペイン領：200万人弱、半分以上は18C以降にキューバ、プエルトリコへ
- ②. ポルトガル領ブラジル：約400万人、80%は18～19C
- ③. 英・仏・蘭領カリブ：約400万人、17C末～18C末
- ④. アメリカ合衆国：約50万人。主に18C

人口構成

⇒ 3分の2が成人男子、子供が10～20%

- アフリカ側の供給事情
- アメリカ側では男女ともに労働→奴隷人口の70%が労働
- 第二世代以降：現地生まれ criollo, creole→男女比はほぼ同じ
- 平均寿命：40～50歳（来米直後の死亡率は高い）

労働の種類

- ①. 家内奴隷(中世以来の伝統) …主にスペイン、ポルトガル領の都市部
- ②. 生産労働力…大陸各地のプランテーション→大多数は②で利用
大半は重労働、少数の監督者

プランテーション地域＝奴隷の全人口に占める割合が高い

奴隷の文化

- 出身地の違う人々が協働作業
 - ※ コミュニケーションが困難…ヨーロッパの言語、混成言語
 - 混成文化の形成…アフリカの信仰、呪術→カトリックと混交

奴隷身分からの脱出(抵抗)

- ①. 労働の手抜き
- ②. 逃亡
Cimarron, maroon
例 : La Esmeralda(ecuador)
- ③. 暴動、反乱
- ④. 解放…スペイン、ポルトガル領で容認
- ⑤. 混血

混血の問題

- 特にスペイン領、ポルトガル領で多い
理由 : 都市での家内奴隷が多い
- 混血の複雑化(Casta)→混血の種類で名称が異なる

白人 + 黒人 = mulato

先住民 + 黒人 = zambo

白人 + 先住民 = mestizo

mulato + mestizo = ???

参考 : カスタ海画

奴隷制の廃止

- ①. 貿易の廃止
- ②. 18世紀後半に反対派が増加
- ③. イギリス : 1808
- ④. ブラジル : 1850
- ⑤. スペイン : 1867

制度の廃止

ハイチ : 1791

英領カリブ : 1838

合衆国 : 1865

キューバ : 1886

ブラジル : 1888

